

# ボンネットセンサー Be-960

## 取付接続説明書

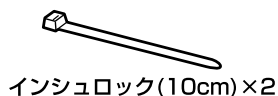
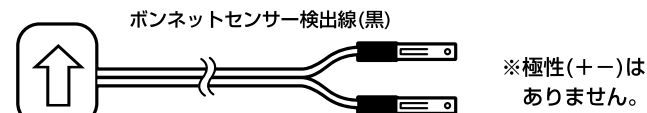
### ●商品説明

このボンネットセンサーは、万一の事故防止のため、ボンネットを開けた(整備など)ときにエンジンスターターの動作を停止させるパーツです。

### ⚠ 使用上の注意

登り坂10°以上で停車した場合、ボンネットセンサーが作動する恐れがあります。また作動した場合は、ターボタイマー・エンジンスターターの機能が使用できません。

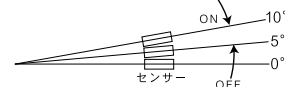
### ●基本接続図とセット内容



### 配線方法

- ⚠ 注意**
- ・ボンネットセンサーは、できるだけボンネットフードのインシュレータ内に設置してください。(インシュレータがない車種もあります)
  - ・配線ケーブルは車両の可動部に触れたり、挟み込まれたり、垂れ下がらないようにインシュロックで結束処理をしてください。

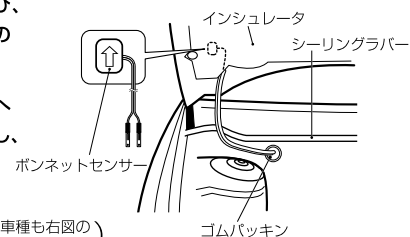
**アドバイス** ・検出角度は水平面に対して、開く場合は10°以上、閉じる場合は5°以下です。



- 1** ボンネットヒンジ付近の平面を選び、ボンネットセンサーを取付ける場所の油やほこり等をよく拭き取る。

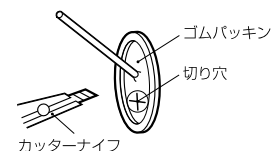
- 2** センサーの矢印をボンネットの先端へ合わせ、裏側の両面テープをはがし、取り付ける。

※インシュレータ内の平面部に取り付ける  
(インシュレータがない車種も右図の  
ような位置の平面部に取り付ける)



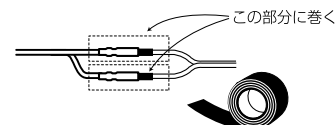
- 3** エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通せる場所をさがす。

- 4** 線が通るようにカッターナイフ等で切り穴を開け、線を通す。

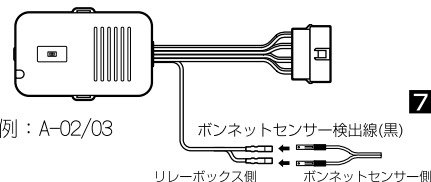


- 5** リレーボックスのボンネットセンサー検出線(黒)に、ボンネットセンサーの検出線(黒)を差し込む。

- 6** 差し込んだ端子部分に絶縁テープを巻く。



例：A-02/03



- 7** コード類に余分な長さがあればインシュロックで結束する。

